

第2回総務文教常任委員会会議録

1 開会日時 令和2年2月5日(水) 午前10時0分

2 閉会日時 令和2年2月5日(水) 午前11時0分

3 会議場所 議会委員会室

4 出席委員

1 番 永徳 省二君 3 番 佐藤 武君 7 番 大口 浩志君

1 2 番 北川 勝義君 1 6 番 下山 哲司君 1 7 番 実盛 祥五君

5 欠席委員

な し

6 説明のために出席した者

市 長 友實 武則君 副 市 長 前田 正之君

副 市 長 川島 明昌君 教 育 長 内田 恵子君

総合政策部長 安田 良一君 総務部長兼
監査事務局長 塩見 誠君

財務部長兼
会計管理者 藤原 義昭君 教 育 次 長 末本 勝則君

赤坂支所長兼
市民生活課長 土井 常男君 熊山支所長兼
市民生活課長 矢部 恭英君

吉井支所長兼
市民生活課長 是松 誠君 消防本部消防長 井元 官史君

秘書広報課長 小引 千賀君 政策推進課長 花谷 晋一君

総務課長 小坂 憲広君 暮らし安全課長 岡本 和典君

財政課長 和田美紀子君 管財課長 戸川 邦彦君

税務課長 遠藤 健一君 教育総務課長 金島 正樹君

学校教育課長兼
中央学校給食センター所長 家森 康彰君 社会教育課長兼
スポーツ振興課長 土井 道夫君

消防本部
消防総務課長 檜原 秀幸君

7 事務局職員出席者

議会事務局長 元宗 昭二君 主 事 松尾 康平君

8 協議事項 1) 事業の進捗状況について

2) その他

9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（北川勝義君） ただいまから第2回の総務文教常任委員会を開会いたします。

初めに、友實市長より御挨拶をお願いしたいと思います。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 皆さん、おはようございます。

早いもので、令和2年ももう1カ月が過ぎました。まことに皆さんお忙しいと思います。そういう中で総務文教常任委員会をお開きいただきまして、まことにありがとうございます。

本日の議事でございますけども、特に3月定例市議会に上程させていただく予定としている案件の概要を説明させていただきます。そのほか事業の進捗状況等がございますので、よろしく御協議のほうをお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入りたいと思います。

1番目の事業の進捗状況について執行部から説明願いたいと思います。説明につきましては、総合政策部から順次行っていただき、質疑は一括して受けたいと思います。皆さん、そのようにさせていただいて結構でしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） それじゃあ、そのようにさせていただきます。

それでは、総合政策部のほうから説明願いたいと思います。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 政策推進課より事業の進捗状況について御報告いたします。

総合政策部資料をお手元に御準備ください。

(1)第2期赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）へのパブリックコメントの実施について御報告いたします。

資料は1ページをごらんください。ごらんいただいている資料につきましては、1月の委員会で御説明差し上げたものとほぼ同じ内容となっております。下のほうになりますが、3、今後のスケジュール予定の欄をごらんください。

素案に対しますパブリックコメントを2月14日から3月4日の期間で実施いたします。その後、寄せられた御意見を考慮の上、3月12日に開催を予定しておりますあかいわ創生有識者会議で創生総合戦略案について御検討いただきまして、その後あかいわ創生推進本部会議で創生総合戦略を策定することとなります。素案のパブリックコメントを開始しましたら議員の皆様には議会事務局にて閲覧できるよう準備をしておきますので、ぜひこの素案をごらんいただければと考えております。また、意見書もあわせて議会事務局に配付しておきますので、御意見

ございましたらお手数ですが3月4日までに政策推進課へ御提出をお願いいたします。そのほか通常の閲覧場所としましては、政策推進課、各支所市民生活課、市のホームページを予定しております。

以上で総合政策部の説明を終わります。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） それでは、総務部くらし安全課から御報告をさせていただきます。

総務部資料の赤磐市地域防災計画の修正についてでございます。

資料の1ページをごらんください。

国の防災基本計画及び岡山県地域防災計画、こちらが平成30年、一昨年7月西日本豪雨等を受けまして、こちらを教訓としました修正が今年度行われております。これらの上位計画との整合を図るとともに、平成29年3月の改定以降に行われた見直し等を踏まえて、現在赤磐市地域防災計画の修正の作業を行っているところでございます。

資料の2ページをごらんください。

3としまして、計画修正の流れとしましては計画素案の作成を行っております。関係各課からの意見等を取りまとめまして、素案がほぼできつつあるところでございます。

②としまして、今後、もう近日中になりますが、2月上旬から2月下旬にかけてパブリックコメントを実施する予定でございます。これらの意見を踏まえまして、最終的には3月下旬に赤磐市防災会議を開催させていただきまして、そちらでお諮りした上で計画が完成ということになります。

総務部からは以上です。

○委員長（北川勝義君） 執行部のほうから説明が終わりました。

委員の皆さん、何か質疑はありませんか。

○副委員長（佐藤 武君） じゃあいいですか。

○委員長（北川勝義君） 佐藤委員。

○副委員長（佐藤 武君） 総合戦略それから防災計画、いずれもパブリックコメントを実施するということですが、市民の皆さんの御意見を聞くというのは本当に重要なことだとは思いますが、どの程度の反応といたしますか回答、意見が寄せられるか、どういうものを期待しているのかということについて思いがあればお答えください。

それから、もう1つ、その総合戦略の中でこの事業に充てる有利な財源を確保するということが記載されてるんですけども、有利な財源というのは具体的に何を予定しておりますか。

以上です。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） まず、パブリックコメントでどのくらいの御意見を期待しているかという御質問だったと思います。このパブリックコメントにつきましては、通常ホームページでパブリックコメントをするというのが通常でございますが、時期をあわせまして広報のほうにもパブリックコメントをするぞということを掲載させていただいております。ぜひ1人でも多くの方に見ていただきまして御意見をいただければという思いでさせていただいております。

次に、有利な財源ということでございますが、この創生総合戦略を策定することによりまして国庫補助金、今で言いますと地方創生推進交付金という補助金をいただいております。これは、国に認められましたらその事業費に対しまして2分の1の事業補助がいただけるものと今の制度ではなっております。

以上でございます。

○委員長（北川勝義君） よろしいか。

○副委員長（佐藤 武君） はい。もう1つ。

○委員長（北川勝義君） 佐藤委員。

○副委員長（佐藤 武君） 地方創生交付金それから合併特例債ではないんですよね。それで、具体的にその交付金というのは上限額があるんですか。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） まず、その補助金につきまして合併特例債ではないかという御質問ですが、合併特例債につきましては新市建設計画へ載っている事業に対しまして充てられる起債でございまして、このまち・ひと・しごと創生総合戦略に書いてあるから合併特例債が充当できるというものではございません。

あと、地方創生推進交付金につきましては、さまざまな事業に充てられる交付金でございまして、その事業ごとに上限額が決められておまして、済みません、一概には今ここで申し上げることができません。

以上です。

○委員長（北川勝義君） よろしいか。

○副委員長（佐藤 武君） はい、いいです。

○委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

○委員（永徳省二君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 総務部資料の2ページ、赤磐市防災会議、3月下旬にあるということですけど、メンバー構成を教えてください。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） メンバーでございますが、国土交通省中国地方整備局の岡山河川事務所長それから備前県民局次長、岡山警察署署長それから赤磐市副市長、赤磐医師会の副会長、赤磐市教育委員会教育長、赤磐市消防本部消防長、赤磐市消防団団長、日本郵便の備前瀬戸郵便局局長、NTTですね、西日本電信電話の岡山支店長それから日本赤十字社岡山県支部の事務局長、中国電力株式会社岡山東営業所の配電課長、岡山ガス株式会社の供給部長、岡山県トラック協会の総務課長、まちづくり推進機構の代表理事、以上がメンバーとなっております。

○委員長（北川勝義君） よろしいか。

永徳委員。

○委員（永徳省二君） ありがとうございます。かなり民間も含めて多彩な人材が出ていいことやなっというふうに思ったんですが、この人選は誰がされてるんでしょうか。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員の選定につきましては、赤磐市防災会議条例で次に掲げる者をもって充てるというふうに定められております。それによりましてこちらで協議をさせていただきまして決めております。

○委員長（北川勝義君） 永徳委員、よろしいか。

○委員（永徳省二君） はい、結構です。ありがとうございます。

○委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） なければ、これで終わりたいと思います。

続いて、2番目、その他に入りたいと思います。

その他につきましても執行部のほうから、また委員からもですけど、執行部のほうからいただきたいと思いますが、その他につきましても順次言うていただきまして、まとめて質問させていただこうと思いますが、皆さん、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） じゃあ、そのようにさせていただきたいと思います。

総合政策部のほうから説明願いたいと思います。

○秘書広報課長（小引千賀君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○秘書広報課長（小引千賀君） それでは、令和2年3月議会定例会提出予定議案のうち秘書広報課関係分のものにつきまして主なもののみ概要を説明させていただきます。

総合政策部資料2ページをごらんください。

まず、一般管理費ですが、1,287万6,000円で、前年度比480万4,000円の増額となっております。増額の主な理由は、非常勤職員の会計年度任用職員への移行及び今年度は総務課で計上し、執行委任を受けておりました臨時職員2名分の予算につきまして、来年度から会計年度任用職員として当課で計上することになったものによるものでございます。

次に、シティプロモーション事業につきましては、1,090万2,000円で、対前年度62万2,000円の減額となっております。FMラジオ開局にあわせましたラジオ番組の放送回数増加による増額がある一方で、県外PRイベントへの参加の見直しを行うことから、全体としては減額となったものでございます。

秘書広報課からの御説明は以上です。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 政策推進課から令和2年3月議会定例会提出予定議案について御説明いたします。

提出議案は、3件を予定させていただいております。

総合政策部資料3ページをごらんください。

まずは、(2)過疎地域自立促進市町村計画の変更について御説明いたします。

令和2年度の当初予算調製に当たりまして事業の特定財源として過疎対策事業債を充当するため、赤磐市過疎地域自立促進市町村計画に変更を加えるものでございます。変更箇所は、消防施設整備補助金交付事業、吉井会館改修事業、吉井郷土資料館改修事業の3事業を事業計画に追加するものでございます。

資料の4ページをお開きください。

(3)令和元年度一般会計補正予算（第5号）について概要を説明させていただきます。

政策推進課では、本補正予算において歳入予算1億4,204万5,000円、歳出予算1億7,809万1,000円の減額をさせていただき予定としております。補正予算は、国際交流事業の中学生海外研修事業の中止による歳出の減額、移住・定住推進事業の決算見込みによる歳入歳出の減額、ふるさと応援寄附金の決算見込みによる歳入歳出の増額、企業版ふるさと納税の決算見込みによる歳入の増額、プレミアム付商品券事業の決算見込みによる歳入歳出の減額となっております。特に大きな減額補正となっておりますプレミアム付商品券事業につきましては、購入対象者1万人を見込んでおりましたが、購入希望者が最大3,645人と見込まれるため、実績により減額補正させていただきものでございます。

総合政策部資料6ページをごらんください。

次に、(4)令和2年度一般会計予算について主なものを説明いたします。政策推進課が計上しております予算のうちから主なものについてのみ説明をさせていただきます。

まず、国際交流事業ですが、210万円、前年度比1万9,000円の増額となっております。海外研修参加中学生への補助金及び事業経費、グローバルキャンプなどの経費を計上させていただいております。

次に、生活交通対策事業、市民バス運行事業、広域路線バス運行事業には、公共交通に関する予算でございます、8,579万7,000円、239万9,000円の増額となっております。

新規事業といたしましては、公共交通網形成計画に基づきまして、タクシー運転手の高齢化による運転手不足を解消するため、2種免許の取得に対する補助金60万円などを計上させていただいております。

次に、連携・協力推進事業につきましては、330万円、前年度比6万円の増額となっております。主な理由としましては、消費税増税によるものでございます。

次に、移住・定住事業につきましては、1,942万4,000円、前年度比2,389万3,000円の減額となっております。主な要因としましては、令和元年度は山陽6丁目の土地購入費1,000万円、ウェブサイト作成委託料281万円、移住相談拠点施設整備に要する経費381万8,000円を計上していたことや、令和2年度は移住支援金を1人少なく見込むことや移住体験ツアーを岡山連携中枢都市圏でのみ取り組むことなどによるものでございます。

次に、総合計画・総合戦略推進事業につきましては、238万3,000円、前年度比99万7,000円の減額となっております。主な要因としましては、令和元年度で計画を策定し、計画策定経費が減額となったものです。

次に、地域おこし協力隊事業につきましては、211万8,000円、前年度比20万3,000円の増額となっております。

次に、ふるさと納税推進事業につきましては、4,996万5,000円、前年度比954万7,000円の増額となっております。主な要因としましては、ふるさと納税の歳入につきまして令和2年度は令和元年度より2,000万円増の1億円を見込んでおりまして、歳入増加に伴う返礼品の経費の増額を見込んだものでございます。

次に、地質資源活用事業につきましては、95万円、前年度と同額を予定しております。

次に、結婚支援事業につきましては、275万円、前年度比105万円の減額となっております。主な要因としましては、令和元年度は婚活イベントを4回、あとイベントに伴うカウンセリング事業を行っていましたが、令和2年度はイベントを3回に見込みまして、カウンセリングは県の事業を活用させていただくこととしております。

次に、諸統計調査費につきましては、1,960万9,000円、前年度比1,174万8,000円の増額となっております。主な要因としましては、大規模な統計調査としまして令和元年度では農林業センサスがございましたが、令和2年度は国勢調査の年でございます、国勢調査に係る経費を1,922万6,000円計上させていただいております。

政策推進課からの御説明は以上です。以上で総合政策部の説明を終わります。

○総務課長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○総務課長（小坂憲広君） 総務部からのその他になります。

令和2年3月議会定例会提出予定議案について御説明いたします。

資料3ページからお願いいたします。

まず、総務課からになります。

まず、1番目、赤磐市固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについてでございます。現委員の任期満了に伴うものでございます。任期は、令和2年5月19日から令和5年5月18日までの3年間でございます。5人のうち4人が再任で、1名の方が新任ということでございます。

続きまして、2番目になります。赤磐市配偶者同行休業に関する条例の制定についてでございます。こちらの内容につきましては、職員の配偶者が勤務などによりまして外国に6カ月以上継続して住所または居所を求めて滞在し、生活をともにすることが見込まれる職員からの休業の申請があった場合、公務の運営に支障がないと認めるとき、この休業を承認することができる制度でございます。休業の期間につきましては3年を超えない範囲で、休業期間中につきましての給与は支払われないというものでございます。

続きまして、3番目、4ページ目になります。地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例についてでございます。こちらですが、地方公務員法及び地方自治法の一部改正によりまして、令和2年4月1日からの会計年度任用職員制度の運用に向けての条例制定でございます。内容につきましては、会計年度任用職員制度を導入することによります影響のある関係条例の一部改正となっております、全部で13条例の一部改正ということでございます。

続きまして、4番目です。令和元年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）になります。

まず、歳入です。

事業費確定によりまして、参議院議員選挙及び岡山県議会議員選挙に係ります委託金の減額でございます。選挙費委託金を1,085万5,000円減額するものでございます。

続きまして、歳出予算になります。

まず、1番目、職員人件費、総務管理費分になります。3,050万円の減額でございます。

続きまして、2番目、5ページ目になります。内部情報システム運営管理事業費でございます。こちらが、決算見込みによりますパソコン賃借料の減額で1,705万2,000円の減額でございます。

続きまして、3番目、選挙費になります。こちら、県議会議員選挙それから参議院議員選挙の事業費確定のための減額となっております。県議会議員選挙費が917万1,000円の減額、参議院議員選挙費が168万4,000円の減額ということでございます。

続きまして、5番目になります。令和2年度赤磐市一般会計予算になります。

主なものですが、歳入予算で岡山県知事選挙費、こちらが県知事選挙委託金といたしまして2,215万4,000円を計上する予定になっております。

歳出予算ですが、職員人件費が9億7,326万5,000円でございます。

2番目、一般管理費ですが、文書管理システム運用経費、こちらが412万4,000円でございます。

3番目、内部情報システム運営管理事業費、こちらですが仮想サーバーの賃借の更改それから内部情報系のパソコン、学校用無停電電源装置の更新でございます。仮想サーバーの賃借が1,321万9,000円、それから内部情報、無停電電源装置が1,025万2,000円でございます。

続いて、4番目になります。岡山県知事選挙費、こちらが2,296万6,000円の計上でございます。

5番目、市長・市議会議員選挙費、こちらが4,628万9,000円の予算の計上をさせていただくものでございます。

総務課からは以上でございます。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 続きまして、くらし安全課に係るものでございます。

資料の7ページをごらんください。

1番としまして、令和元年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）でございます。

歳入。地域防災力強化総合支援事業補助金、こちらは170万円の減額となっております。自主防災組織の支援事業が見込みを下回ったことによる減額でございます。

次に、防災行政無線施設整備事業、こちらが490万円の減額でございます。執行残の見込みによる減額でございます。

歳出の部です。防災行政無線保守点検委託料、こちらが489万8,000円の減額でございます。こちらも、予算額よりも安価で実施できたということによる減額でございます。

続きまして、防犯灯の電気料、これが100万円の減額。

防災計画書修正委託料が100万円の減額、入札残によるものでございます。

自主防災組織活動支援事業補助金340万円の減額、こちらも、自主防災組織によります訓練等の実施が見込みを下回ったことによる減額でございます。

資料8ページに移りまして、(2)番、令和2年度赤磐市一般会計予算でございます。

歳出としまして、法令遵守相談員の報酬231万6,000円、防災行政無線保守点検委託料4,902万9,000円、防災行政無線施設整備工事441万7,000円、FM管理事業としまして中継局の回線電話料386万9,000円、施設保守点検委託料228万1,000円、赤磐市から緊急放送、割り込み放送を行う際に自動で立ち上がる緊急告知ラジオ、こちらの購入費が203万5,000円、行政事務

連絡業務委託料4,645万8,000円、市管理の防犯灯電気料1,417万5,000円、防犯灯施設修繕料704万8,000円、防犯灯設置工事102万8,000円、防犯灯設置補助金304万円、防犯カメラ設置補助金90万円、交通安全対策事業としまして交通指導員の報酬248万9,000円、安全施設の修繕料361万9,000円、踏み間違い防止装置整備費補助金100万円、消費生活推進事業としまして消費生活相談員報酬412万8,000円、特殊詐欺等被害防止対策機器設置補助金25万円、防災費としまして災害用備蓄等328万8,000円、国土強靱化地域計画作成委託料614万9,000円、避難行動要支援者管理システム賃借料115万円、自主防災組織活動支援事業補助金495万7,000円、以上でございます。

以上で総務部からの説明を終わります。

○財政課長（和田美紀子君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 和田課長。

○財政課長（和田美紀子君） それでは、財務部の資料をごらんください。

初めに、財政課関係分について概要を御説明いたします。

1 ページ、令和元年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）の案について御説明します。

まず、歳入です。丸を書いておりますが上から5つ目まで、地方道路譲与税、森林環境譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、これら5つにつきましては国や県から決算見込みに関する情報が入っておりますので、これによりまして増減させておるものがございます。

また、財産収入の利子及び配当金、1つ飛びまして8つ目になりますが繰入金の地域振興基金繰入金、これらと関連しますが、2ページに進んでいただきまして歳出の3つになりますが総務費の財政調整基金費、減債基金費、特定目的基金費、これらは全て現在あります基金の利子収入、運用収入の見込みによりまして歳入歳出をふやしているものになります。

歳出の丸、3つ目の下側のぼつ、こちらにはふるさと応援寄附金の実績により基金への積立額が決定しましたので補正予算で増額させていただいておりますというものを含んでおります。

恐れ入ります、1ページに戻っていただきまして、歳入の下から2つ目、こちらに関しまして財政調整基金の繰入金、これにつきましては補正予算の全体による歳入歳出の財源調整のための繰入金でございます、今回は減額をしますという補正になっております。

続きまして、3ページ、令和2年度赤磐市一般会計予算案について財政課分の概要を御説明します。

まず、歳入です。これらの1つ目の地方譲与税、2つ目の地方消費税交付金、それから3つ目の地方交付税、それから2つ飛びまして臨時財政対策債とこれらが国・県の見込みが出ておりますので、それに合わせました計上となっております。

それから、上から4つ目になりますが財政調整基金繰入金、先ほど御説明しましたが、これ

も令和2年度予算全体の歳入歳出の調整を行う繰入金となっております。

その下の繰越金に関しましては、令和元年度から2年度へ繰り越す予定の額ということになりますので、前年と同額を計上しております。

次に、歳出です。3ページの一番下のところになりますが総務費の財政管理費、こちらにつきましては財政課の事業であります公会計制度に対応するための事業費を計上しております。

1ページめくっていただきまして4ページの一番上、こちらの公債費につきましては財政融資や簡保、ゆうちょなどそういったものの長期借入債の償還の元金、利子等の金額が決まっておりますので、それを計上しております。3つ目の予備費につきましては、前年度と同額を計上しております。

財政課からは以上です。

○管財課長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○管財課長（戸川邦彦君） それでは、引き続きまして管財課より令和元年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）案について説明させていただきます。

財務部資料の2ページ中段になります。

歳出で総務費、総務管理費1,132万8,000円の減額としております。こちらは、旧消防本部の訓練塔の解体を計画しておりましたが、県との起債の協議を進める中で旧消防庁舎の改修とあわせて除却を行うことで起債対象となる見込みがあるために、本年度は解体を取りやめ、有利な財源活用に向けて計画をするものでございます。

それから、令和2年度赤磐市一般会計予算案についてです。

資料のほうで4ページ中段になります。

歳出で総務費、一般管理費の管財課所管分でございますが、1,131万円、これにつきましては物品購入や契約管理、入札等に関する費用でございます。

それから、その下、総務費の財産管理費でございます。こちらにつきましては、9,204万4,000円で、これは本庁舎、庁用車、公有財産の管理、公共施設等総合管理計画事業にかかわる経費となっております。新規の事業としまして、公有財産の個別の施設計画策定を予定しております。その費用を計上させていただいております。

それから、総務費、総務管理費になります。この中の施設管理費としまして、2,598万7,000円で、こちらは桜が丘いきいき交流センターの管理運営に関する経費となっております。

管財課からは以上です。

○税務課長（遠藤健一君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 遠藤課長。

○税務課長（遠藤健一君） それでは、資料のほう、済みません、財務部は行ったり来たりし

て申しわけございませんが、2ページへお戻りください。一番下段でございます。

税務課の補正予算につきましては、昨年来当委員会でも補正予算でお世話になっておりました法人市民税、こちらで補正は過年度の還付金が不足しておりますということで予備費の補正でありますとかお世話になったところでございますが、今年度の現年課税分につきましてはやはりこのところ法人さんの、市内事業所さんの特に製造系だと思われるんですが減益が見込まれるということで、決算見込みにつきまして9,000万円の減額補正を予定させていただいております。

1枚おはぐり願います。

4ページ、5ページに税務課の2年度当初予算のことについて書かせていただいております。

市税につきましては、先ほど申し上げましたとおり、法人の景況感ということでございますが、依然として下降調子ということでございますので、そのあたりを加味した市民税については減と、固定資産税や軽自動車税、市たばこ税につきましてはそれぞれの見込みを増と見ておりました、全体といたしましては最後に書いておりますとおりほぼ横ばいということでございますが、0.9%の減ということで予定をさせていただいております。

5ページの歳出でございます。

税務課のほうは、事務費でございますので8,400万円ほど予定をさせていただいておりますが、前年比になりますと13.5%の減でございます。減額の主なものは、3年ごとに行います固定資産税の評価がえの土地鑑定評価委託料が今年度ございましたので、その分が減ということになっております。

財務部の説明は以上でございます。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○学校教育課長兼中央学校給食センター所長（家森康彰君） 教育委員会資料をごらんください。

令和2年3月議会定例会提出予定議案について説明をさせていただきます。

1ページをごらんください。

地方自治法第180条の規定による市長の専決処分の報告について説明をさせていただきます。

平成31年4月12日、仁美小学校の敷地内において給食食器を回収するために給食配送車を後退させていたところ、停車していた軽トラック後部に衝突し、同車両に損傷及び相手への損害を与えたものです。これにより損害金9万355円を賠償したものです。事故の責任の割合は、市が10割です。なお、全額保険で対応をしています。

以上です。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 続きまして、(2)番、赤磐市教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについてでございます。

このたび平松由香委員の任期が令和2年5月19日で満了となります。引き続き平松さんを教育委員の候補者として3月議会において任命の同意をお願いするものでございます。任期につきましては、令和2年5月20日から令和6年5月19日までの4年間でございます。平松さんにおいては、子供たちの健やかな成長のため保護者、地域住民として大変熱心な活動を続けられており、経歴や人柄も申し分なく、教育委員として適任者でありますので、よろしくお願ひしたいと思います。

続きまして、教育委員会資料の2ページ、3ページをお願いいたします。

(3)令和元年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）についてでございます。

まず、教育総務課においては、歳入で幼児教育・保育の無償化にかかわる国費の負担による幼稚園保育料を減額補正、②番で小中学校トイレ洋式化改修事業では起債の財源更正、③番、山陽ふれあい公園体育館防災拠点整備事業としましては補助金交付見込みに伴う財源更正を行うものです。

また、歳出においては、職員人件費において実績見込み等により減額補正を行うものです。

続きまして、3ページで、繰越明許費について先月の委員会で報告しました小中学校のトイレ洋式化工事にかかわる予算について繰り越しを行う予定です。また、非構造部材耐震補強工事についても、現在3小学校で工事を進めております。学校行事等の調整、児童の学校生活に配慮しつつ、安全を確保しながら優先に工事を進めているため、年度内に完了することが困難となり、予算の繰り越しを行うものです。

教育総務課からは以上です。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） それでは、社会教育課から説明させていただきますので、資料3ページの中ほどからをござんください。

史跡両宮山古墳墳丘裾保存整備工事を平成29年度から実施しておりまして、これにつきまして国・県の補助をもらいながら実施施工している次第でございます。今回補助金の交付見込みによる国・県の補助金の減額及び事業費の減額ということでこちらに掲載させていただいておりますので、よろしくお願ひいたします。

○教育総務課長（金島正樹君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○教育総務課長（金島正樹君） 続きまして、資料の4ページ、5ページをお願いいたしま

す。

(4) 令和2年度赤磐市一般会計予算についてでございます。

教育費の主な歳出予算について説明をさせていただきます。

まず、全般的に会計年度任用職員制度の導入により各費目の職員人件費、報酬等が増額となっております。

まず、教育総務費では、①番の職員人件費のほか、⑧番、電算管理運営事業ではパソコン借上料など、⑪番では生徒指導総合実践事業において不登校教育相談支援員の報酬等を見込んでおります。

次に、小学校費では、前年並みの予算計上を見込んでおります。⑤番については、小学校の教科書改訂が来年度ありますので、その予算を計上、見込んでおります。

次に、中学校費では、前年並みの予算計上を見込んでおります。

次に、幼稚園費では、①番、職員人件費のほか、②番の一般管理事業では教育支援・預かり保育の指導員の報酬などを見込んでおります。

続きまして、5ページでは、社会教育費において①番から③番において職員の人件費のほか、⑩番、埋蔵文化財発掘調査事業では斎富南方ほ場整備事業にかかわる調査費用、⑭番、資料館運営事業では吉井郷土資料館改修工事費などを見込んでおります。

次に、保健体育費では、①番、②番の職員の人件費のほか、⑤番、東京オリンピック事前キャンプ誘致にかかわる費用、⑥番、ふれあい公園維持管理事業では防災拠点整備工事費などを見込んでおります。⑦番の学校給食センター一般管理事業では、中央学校給食センター調理業務等民間委託料などを見込んでおります。

教育委員会の予算関係の説明は、以上でございます。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） それでは、教育委員会資料の一番最初をごらんください。

報告でございますけれど、東京オリンピックの事前キャンプ誘致ということでニュージーランド代表女子ホッケーチームにオファーをしておりましたけれど、いよいよこちらでオリンピック出場も決まり、赤磐市で事前キャンプをしたいということで、それにつきまして締結調印式を2月20日午前9時から赤磐市中央図書館多目的ホールで、調印者といたしまして日本側は岡山県知事、赤磐市長、岡山県ホッケー協会会長、ニュージーランド側はニュージーランドホッケー協会代表者ということでさせていただき予定にしております。なお、この調印式の詳細につきましては、情報のプレスリリースは県と同時に行うこととしておりまして、2月14日のプレスリリースということで報告につきましてはここまでということで御承知いただければと思っております。

以上、教育委員会から報告させていただきました。

○消防本部消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 檜原課長。

○消防本部消防総務課長（檜原秀幸君） 令和元年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）から説明をさせていただきます。

1 ページをごらんください。

歳入の補正はありませんので、歳出について説明させていただきます。

常備消防費の備品購入費は、パソコン購入費として予算計上しておりましたが、担当部局と協議した結果、5年間の賃貸借事業となりましたので、令和元年度は3月分のみ支払いとなります。また、他事業で約30万円緊急に流用が必要となったため、残りの170万円の減額補正をお願いしております。

次に、非常備消防費でございます。旅費は、予算要求に比べ出動が大幅に少なく、操法訓練期間が短縮されたことなど支出の減少が予測されるため、280万円の減額補正をお願いしております。

続きまして、令和2年度一般会計予算案について説明をさせていただきます。

歳出につきましては、常備消防費で職員人件費5億5,797万6,000円を、施設維持管理事業で4,926万8,000円を予定し、職員教育等負担事業で551万8,000円を計上させていただきました。非常備消防費の消防団報酬はほぼ同額の2,155万円、費用弁償で各種訓練出動手当の経費1,047万5,000円を予定させていただきました。消防施設費は、委託料の高機能消防指令センター整備に係る支援業務委託で513万7,000円を、備品購入費は北出張所に配備の12年経過した高規格救急車と本署配備の15年経過した消防ポンプ自動車の2台の更新で7,900万円計上させていただいております。

続きまして、高機能消防指令センター更新事業について御説明申し上げます。

裏面の2ページをごらんください。

平成21年に運用開始した指令システムが10年を経過し、機械の老朽化も進み、故障時メーカーからの交換部品の供給がなくなることから、更新を実施するものでございます。保守点検業者と在庫部品による対応で保守延長の契約をしておりますが、2年が限界で、最大でも令和3年までに更新を完了することが故障リスクを回避する方法と考えております。令和2年と3年で調達支援業務をプロポーザルで公募し、同3年、高機能消防指令センターの本体工事を実施したいと考えています。更新事業内容にあつては、2ページ下段の表をごらんください。なお、詳しい説明にあつては、事業の進捗にあわせてその都度説明をさせていただきたいと思っております。

続きまして、令和元年度の火災、救急の概要について説明させていただきます。

資料3ページをごらんください。

初めに、火災の概要ですが、令和元年中における火災件数は16件で、昨年の半数となっております。内訳としましては、建物火災2件、林野火災2件、車両火災1件、その他火災が11件となっております。30年中も火災件数が減少してはいましたが、元年中も全ての火災種別で減少が見られました。これは、ひとえに市民の皆様の防火に対する意識の高揚と消防団員の火災撲滅に向けた地道な広報活動を展開して下さった結果だと思っております。

次に、裏の4ページをごらんください。

救急の概要ですが、出動件数が1,757件と昨年比47件の減少となっております。内訳としましては、急病が全体の62%、一般負傷17%、交通事故8%、転院搬送11%、その他が2%となっております。下段の救急処置対象者の欄をごらんください。救命処置対象者は、昨年と比べ微増の43人で、器具を使用した気道確保の実施件数がふえ、その他の特定行為は減っています。医師の指示下で積極的な蘇生措置を実施しておりますが、社会復帰率はまだまだ上がっていないところがございます。また、生命の危機に瀕した傷病者に適切な救急搬送と最善の処置ができるよう、広報紙やホームページでも居合わせた人による蘇生法の実施や救急車の適正利用もお願いしているところがございます。詳細については、資料を御確認いただきたいと思っております。

続きまして、資料にはございませんが、第15回赤磐市消防操法訓練大会についてお知らせいたします。実施日時は、令和2年3月15日日曜日、赤坂ファミリー公園にて8時30分開会とさせていただきます。寒い時期ではございますが、各方面隊の代表選手に声援を賜りますようよろしくお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、消防からの説明とさせていただきます。

○委員長（北川勝義君） 執行部からのその他について説明が終わりました。

委員の皆さん、何か質問がありましたらお願いしたいと思います。

○委員（永徳省二君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 総務部資料の8ページ、緊急告知ラジオ購入費なんですけど、何台分でしょうか。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 台数につきましては、185台を予定しております。これは、市内の避難所が53カ所、それから各地区、町内会自治会が132、合わせて185でございます。

○委員長（北川勝義君） よろしいか。

○委員（永徳省二君） はい、ありがとうございます。

○委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 消防の救急の概要の件でお尋ねをするんですが、出動件数の平均値は下がってるようなんですけど、例えば救急車が全部出払ってしまって次の救急が来たらやばいなというようなことを危惧するようなことがあったのかなかったのか、その辺はどんなんでしょうか。

○消防本部消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○消防本部消防総務課長（檜原秀幸君） 救急件数が減少しておりまして、複数の救急が重なる事案等々がございましたら、次の救急、岡山市内等を走っている救急車が緊急走行で赤磐市内に帰ってくることはございます。それから、台数が足らなくなったような事案に対しては、例えば消防車で応急的な処置を現場にしに行く、その間に救急車が帰ってくるというような連携を考えてございます。今年度は、そういったような非常に緊急の事態というのは発生しておりません。

以上でございます。

○委員長（北川勝義君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

他になれば、これで執行部のほうは終わりたいと思います。

委員の皆さん、その他、何かありましたらお願いしたいと思います。

○委員（永徳省二君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 本庁舎耐震化の件でなんですけど、先日の議会全員協議会のところで本庁舎の耐震化を説明すると結構議員の皆さん反対意見が多かったんですけど、今後の進め方、どういう格好で進めていくのかをお聞かせください。

それと、もう1点、当初耐震化っていうのがいわゆる耐震だけというふうに私は考えてたんですけど、この間の資料もあれですけど、結構パーティションが変わったりレイアウトが変わったりっていうふうなところもあって、その予算というのは当初言っておられたあの予算の中で全てそのパーティション変更とかが可能なかどうか、一応御説明をお願いできればと思います。

○管財課長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） 執行部の方針としましては、年度当初にも申し上げたとおり、この庁舎の耐震改修を行うということで方針に変更はございません。先日の説明につきまして、その施設の平面図の素案ができましたので、その素案につきまして一度お目通しをいただ

きたいというところで資料提供させていただいたところでございます。その内部の改修につきましてもこの大規模改修という形で設備の改修、それから屋上の防水でありますとかあとその設備改修に含めまして、中のリフレッシュも含めて今回改修費用を計上させていただいておりますので、大規模改修の先般お示ししました20億円を改修費用として中のパーティションの変更も含めて考えております。

以上です。

○委員長（北川勝義君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 2番目はよくわかったというか、当初の予算でもうパーティションの変更まで全部含まれてると考えていいわけですね。それはいいんですけど、そしたら、一番最初の質問で、議会全員協議会で発表いただいたら議員から結構反対意見がたくさん出たんですけど、今後もこの総務文教常任委員会で粛々とその耐震化の話を進めていくのか、別途何か特別委員会みたいなのを設けてするのか、どう考えておられるんでしょうか。

○財務部長兼会計管理者（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 部長。

○財務部長兼会計管理者（藤原義昭君） 総務文教常任委員会のほうで行っていきたいと考えております。

○委員長（北川勝義君） 永徳委員、よろしいか。

○委員（永徳省二君） 委員長

○委員長（北川勝義君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） ということは、総務文教常任委員会以外の議員が12名ですか、いますけれども、ああいう反対意見はある意味無視しちゃうというふうに考えてるんでしょうか。

もう1点、それとあとアンケートをとりましたよね。恐らく何らかの格好で今月中ぐらいに返ってくると思うんですけど、その意見をどう反映されるのかも含めてお答えください。

○財務部長兼会計管理者（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 部長。

○財務部長兼会計管理者（藤原義昭君） この前の意見につきましては、総務文教常任委員会のほうでまた上げさせていただこうと考えております。

以上です。

○委員長（北川勝義君） 永徳委員、よろしいか。

○委員（永徳省二君） はい。

○委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） その他についてないようなので、以上をもちまして第2回総務文教常任委員会を閉会したいと思います。

閉会に当たりまして、内田教育長のほうから御挨拶をお願いしたいと思います。

○教育長（内田恵子君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 教育長。

○教育長（内田恵子君） 本日は、御多用の中、お集まりいただき、事業の進捗状況及び3月に提出する議案につきまして御協議をいただきました。ありがとうございました。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございました。大変お疲れさまでした。

これで本日の委員会を閉会したいと思います。

午前11時0分 閉会